

明石市立木の根学園管理運営状況(2018年度)について

2012年4月から指定管理者制度を導入した明石市立木の根学園について、2018年度における指定管理者による管理運営状況を報告します。

1 指定管理者

(1)指定管理者	社会福祉法人 明桜会
(2)指定期間	2017年4月1日～2022年3月31日
(3)指定管理料	協定締結額 62,820千円 決算額 46,623千円 (2017年度 協定締結金額 64,531千円 決算額 51,806千円)
(4)管理体制	・総括管理者 1人 ・管理者 1人 ・サービス管理責任者 4人 ※内2人兼務 ・生活支援員 51人 ※内 2人事務員兼務・3人両工房兼務 ・職業指導員 2人 ・機能訓練指導員 2人 ※両工房兼務 ・看護師 2人 ・事務員 2人 ・清掃職員 2人 ・医師(嘱託) 1人 ・合 計 68人※内職種兼務4人、工房兼務4人 (正職員 30人、契約職員37人、嘱託職員 1人)

2 評価項目

(1)顧客満足度について							
＜木の根学園利用者・保護者アンケート(2019年3月実施)＞							
①アンケート調査等の実施状況	質問事項	満足している	やや満足	やや不満	不満がある	わからない・どちらともいえない	無回答
	利用者様は楽しく学園に通っていますか？	79%	17%	1%	0%	2%	1%
	職員は、利用者様の気持ちを尊重していると思いますか？	65%	25%	1%	0%	3%	6%
	職員は、利用者様に丁寧(乱暴な言葉の使用、命令、体罰をしない)に接していますか？	80%	13%	0%	0%	4%	3%
	利用者様の個別支援計画や生活の様子について十分な説明や情報提供がありますか？	67%	27%	1%	0%	1%	4%
	家族の要望や不満、利用者様に関する心配なことを言いやすい雰囲気がありますか？	60%	28%	1%	0%	6%	5%
	施設管理者や職員は家族の要望や不満に、きちんと対応してくれますか？	58%	28%	3%	0%	5%	6%
	この1年を通して、木の根学園のサービス内容に満足していますか？	64%	28%	1%	1%	2%	4%
②利用者からの主な苦情とその対応	・昨年度同様に、日常的に利用者・保護者からの意見を聴取し、迅速かつ的確に対応を行った事により、おおむね満足いただけるサービスの提供が行えたように思う。						
所管課コメント	・昨年度と同内容の質問である。「満足している」「やや満足」の合計値がどの質問事項でもおおむね9割程度となっており、利用者や保護者から高評価を受けている。 ・1回目の指定管理期間(2012年度～2016年度)に引き続き、2017年度から2021年度までの5年間の指定管理期間の2年目(通算7年目)となり、事業・サービス内容について安定し順調に推移している。						

(2) 事業達成度について

①事業・業務の実施状況	<運営業務>
	○土曜日(年間25日)の開園を含む年間264日開園した。開園日数については最大限可能な日数で設定している。
	○2016年4月より短期入所施設を開設し運営をスタートしている。3年目も順調に運営・利用されている。
	<維持管理業務>
	○トイレ改修、ブロック塀撤去、フェンス設置等
	○利用者の安全や支援のことを考え、適切な修繕を行った。
	<自主事業>
	○ハイキングを実施。たんぽぽ工房53名(5月11日実施)・ひまわり工房57名が参加(5月18日実施)。
	○研修旅行を実施 1泊旅行 ・10/4、5 城崎 (たんぽぽ工房4名・ひまわり工房13名) ・10/19、20 舞鶴 (たんぽぽ工房7名・ひまわり工房11名) ・11/1、2 四国 (たんぽぽ工房15名 ひまわり工房4名) 日帰り旅行 ・9/21 三田 (たんぽぽ工房9名 ひまわり工房8名 保護者4名) ・11/9 大阪 (たんぽぽ工房12名 ひまわり工房11名 保護者5名)
	○木の根学園の集いを3/29に開催。
	<その他業務>
	○各種研修に職員が参加しスキルの向上に努めた。
	○利用者・保護者や関係機関から聴取した個人情報について、個人情報保護の観点から鍵付書庫4台を購入し、管理している。
	○緊急対応マニュアルを作成し、マニュアルに基づいた対応を実施。
	○個別支援計画の公開・工賃明細の配布等、必要に応じ対応した。

②施設等の利用状況	<木の根学園利用者の施設利用状況>			
		開園日数	在籍者数 (年間平均値)	利用率 (年間平均値)
	たんぽぽ工房	264日 (H29 266日)	56名 (H29 61名)	80.99 % (H29 89.44%)
	ひまわり工房		58名 (H29 59名)	88.92% (H29 87.76%)
	たんぽぽ工房 ひまわり工房 計		113名 (H29 120名)	84.95% (H29 88.61%)
短期入所施設	349日 (H29 350日)	6名(定員)	95.43% (H29 98.14%)	
所管課コメント	・たんぽぽ工房で在籍者減による利用率の低下が見受けられるものの、昨年度に引き続き安定した利用率で推移している。 ・2016年4月より開設している短期入所施設についても順調に運営されている。			

(3)事業収支について

①収支状況	<収支状況>		
	収入総額	313,378千円	指定管理料 46,623千円 利用料収入 246,755千円 その他収入 20,000千円
	支出総額	308,574千円	人件費 217,726千円 事務費 7,371千円 管理費 52,724千円 物件費 65千円 負担金 1,145千円 事業費 18,135千円 公租公課 206千円 一般管理費 865千円 その他支出 10,336千円
	収 支	4,804千円	
②使用料等の収入状況	利用料収入(自立支援サービス給付費)246,755千円 (2017年度 254,085千円)		
所管課コメント	・契約者の減少に伴い、利用料収入も前年度比で減となったものの安定した運営を行えている。引き続き安定した施設運営を求められたい。 ・昨年度に比べ、契約者が減少していることから積極的に施設の広報等を行い、定員の充足に努められたい。		

3 その他参考となる特記事項

引き続き、障害者就労への観点から、ハローワークを通じて雇用した知的障害者の就労継続に努めている。

4 所管課総合評価

・2017年度より大型バスの送迎からマイクロバス3台による細やかな送迎サービスに変更し、家族・利用者の高齢化による通所送迎の負担軽減を図れたこと等が安定した稼働率と収入に繋がっている。また、電力の一括調達による電気料金の減額に努めたことで経費削減を図れた。

・利用者・保護者アンケートにおいても高評価を得ておりサービスの低下も感じられない。また、毎年多様な行事も企画しており、施設利用者が楽しく通園出来るように配慮されている。しかしながら、前年度に比べ契約者の減少が見られることから、定員が充足されるよう、広報等に努められたい。

・今後も市の責任において適正かつ必要な指導・監督に努め、利用者増・サービス向上・安全対策のため、引き続き良好な管理・運営等の継続に向けた取組を求めていく。